

12. 整備例

環境先進地区である臨海エリアは、開発が進められている地域であり、区画整理事業や市街地再開発事業による道路新設に加え、既設道路の改修に併せ多様な視点から街路樹の充実を検討することができる。

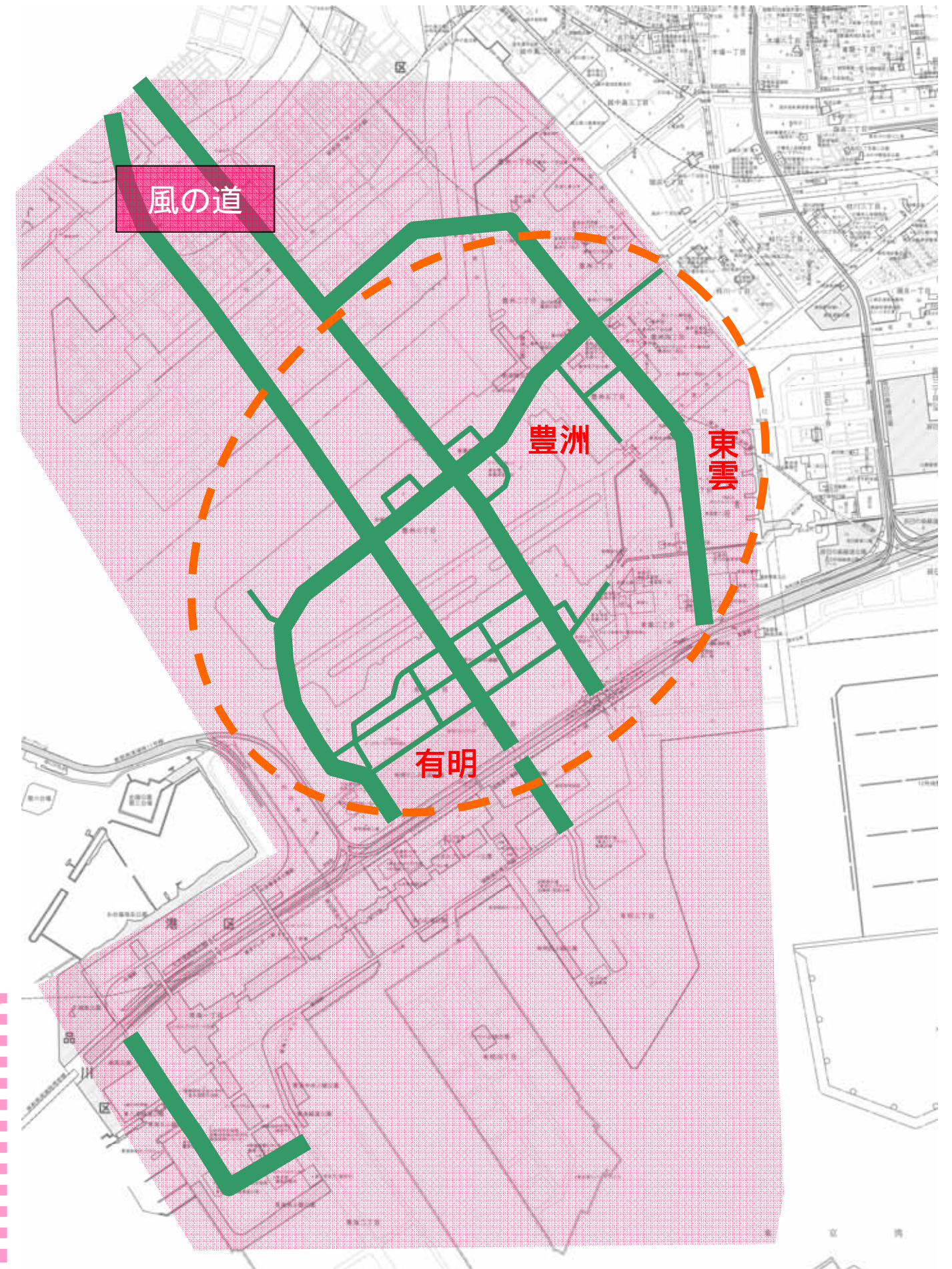
この地区の街路樹整備について、検討を重ねた結果を整備例として示す。

環境先進地区臨海エリアを

緑あふれる空間へ

「10年後の東京」への実行プログラム2009より

既存の公園緑地や開発による公開空地との緑を中心に、広がりと厚みのある緑の創出に向け、環境先進地区にふさわしい街路樹の充実を図る。



ゾーンの分割

(整備事例地区)

地域の特徴を考慮しゾーンの分割を行う。

臨海部について江東区では、平成19年7月に策定した江東区みどりと自然の基本計画にて「東京湾の水面を取り込み、みどりが映える新たな都市空間を創造するまち」を掲げており、平成21年3月策定の江東区長期計画では「道路沿いの緑を増やし、区民が緑に囲まれ、心安らげる空間をつくる」こととしている。

ゾーンA

開発が進んでいる地域

ゾーンB
開発が進められていく地区

ゾーンC

副都心として都市的利用が進められている臨海地区

東京都では、平成20年12月に策定した環境軸推進計画書において、「環2・晴海通り」を中心軸に厚みのある緑を形成することとし、ケヤキによるデザイン性を重視した歩道植栽を進めており、他の区間においても今後同様の仕様で緑化を進める計画となっている。

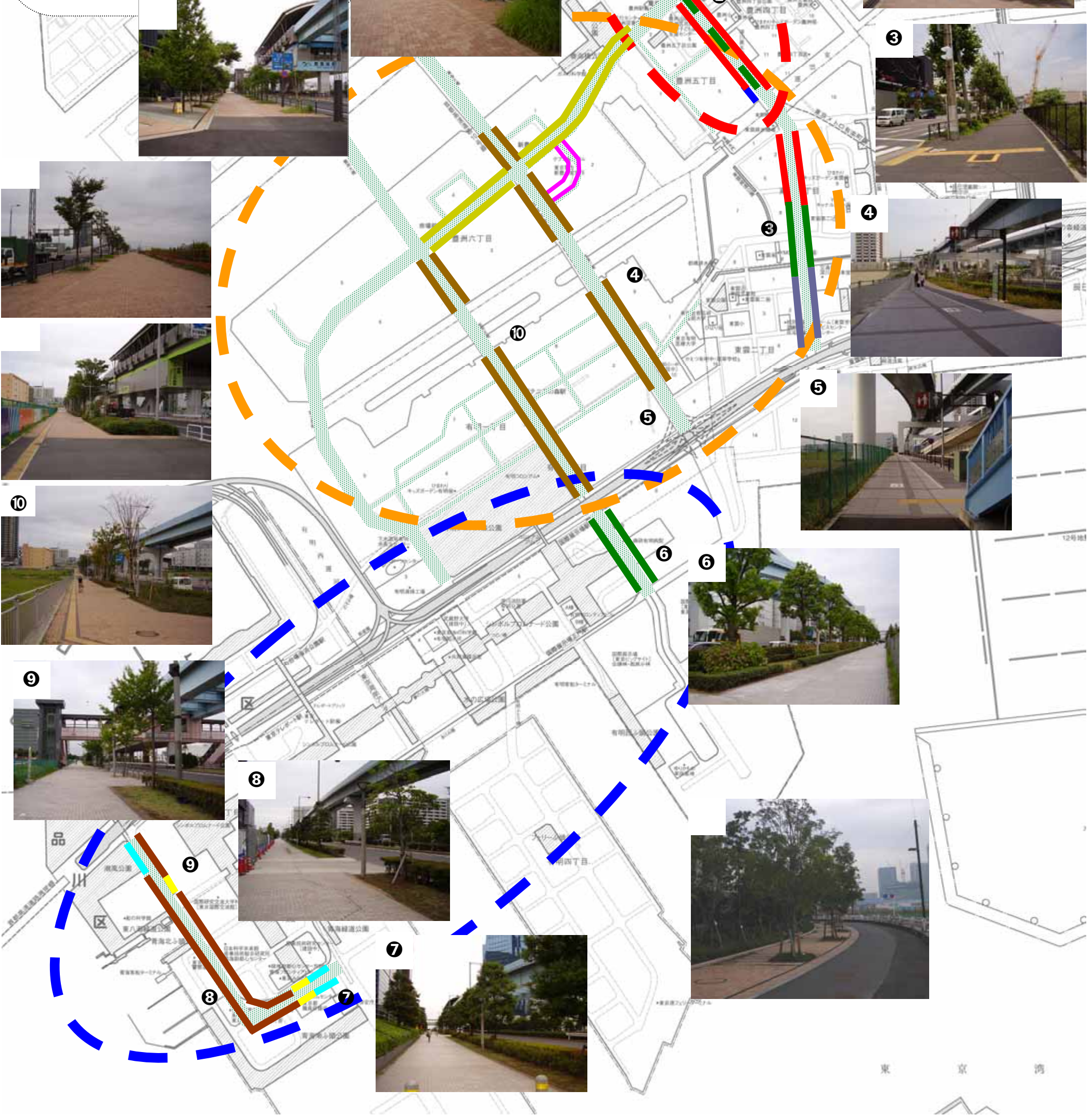
更には「臨海副都心まちづくりガイドライン～2009～」、「有明北地区まちづくりガイドライン-改定-」(平成19年12月)より、臨海部における水とみどりのネットワーク形成について記載されている。

街路樹の現況
(整備例地区)

環境先進地区における、現況の樹種及び写真を提示する。

凡 例

カツラ	プラタナス
ク ス	イチョウ
ケヤキ	ポプラ
センダン	シマトネリコ
タブノキ	ムクゲ(中木)
シラカシ	中央分離帯



ゾーン別植栽（ゾーン A）

晴海通り〔豊洲駅前交差点～東雲橋〕

【植栽樹種】

高木 : プラタナス→カツラ（樹種変更）
中木 : ムクゲ（新規）
低木 : オオムラサキ（新規）



【コンセプト】

豊洲二・三丁目地区及び豊洲駅前地区の再開発による公開空地等との緑化と調和し、風格のある街並みとしての街路樹の充実を図る。

【街路樹選定理由】

- カツラ
幹が真っすぐ伸びた端正な樹形で、ハート型をした小葉の新緑、紅葉がすばらしく、高層ビルの風格ある街並みに調和している。
- ムクゲ
花色が多く、「一日花」であるが、次々に開花し、新緑のカツラ並木に彩りを添える。
- オオムラサキ
公害や大気汚染等に強い花木であり、葉の緑に映える紫紅色の花をつけ、都市的な景観に調和する。

環三支線〔朝風橋～豊洲駅前交差点〕

【植栽樹種】

高木 : プラタナス→カツラ（樹種変更）
中木 : ムクゲ（新規）
低木 : オオムラサキ（新規）



既設植栽を有する都道部において、ゾーン毎に今後の植栽転換例を示す。

晴海通り〔豊洲駅前交差点～東雲橋〕

【植栽樹種】

高木 : プラタナス→カツラ（樹種変更）
中木 : ムクゲ（新規）
低木 : オオムラサキ（新規）



環三支線〔朝風橋～豊洲駅前交差点〕

【植栽樹種】

高木 : プラタナス→カツラ（樹種変更）
中木 : ムクゲ（新規）
低木 : オオムラサキ（新規）



ゾーン別植栽（ゾーンB）

晴海通り〔東雲橋～湾岸道路〕

【植栽樹種】

高木 : 混植（プラタナス・クスノキ・ポプラ）
→ ケヤキ（樹種変更）
中木 : ムクゲ（新規）
低木 : オオムラサキ（新規）



【コンセプト】

業務・商業、居住、文化などが調和した街並みにふさわしい、四季の移ろいを感じられる並木道としての街路樹の充実を図る。

【樹種選定理由】

○ケヤキ
枝が上へ扇上に広がる樹形で、緑陰効果が大きく、新緑、紅葉と落葉後の冬姿が美しく、都市型居住の街並みに調和している。

○センダン
特徴的な花が咲き、気品のあるシンボリックな街並みを形成する。

○サルスベリ
開花時期が長く（7～10月）多様な花色があり、ケヤキ並木に彩りを添える。

○ツバキ類
ケヤキ、サルスベリの落葉後の緑と多彩な花色により、冬場の街並みに彩りを添える。

○サツキ
色鮮やかな花色による春の街並み、紅葉による冬の街並みに彩りを添える。

【植栽樹種】 植栽樹→植栽帯化

高木 : ケヤキ（現行）
中木 : サルスベリ・ツバキ類（新規）
低木 : サツキ（新規）

484号線〔豊洲駅前交差点～市場前駅〕

【植栽樹種】 植栽樹→植栽帯化

高木 : センダン（現行）
中木 : サルスベリ・ツバキ類（新規）
低木 : サツキ（新規）



484号線〔市場前駅～湾岸道路〕



304号線〔晴海大橋～木遣り橋〕

【植栽樹種】 植栽樹→植栽帯化

高木 : ケヤキ（現行）
中木 : サルスベリ・ツバキ類（新規）
低木 : サツキ（新規）



ゾーン別植栽（ゾーンC）

4 8 4 号線〔湾岸道路～東京ビックサイト前交差点〕



【植栽樹種】

高木 : クスノキ（現行）
中木 : サルスベリ・ツバキ類（新規）
低木 : ドウダンツツジ（アジサイ）（現行）

【コンセプト】

「海の森」から都心に向かう風を呼び込み、世界との交流・未来への貢献を目指す街並みにふさわしい、緑豊かで、季節感のある花の咲く並木道としての街路樹の充実を図る。

【樹種選定理由】

○クスノキ
葉色が明るく光沢もあり、全体の印象が明るい。新緑の時期はひときわ美しく、樹形が優美で並木道にふさわしい。

○タブノキ・シラカシ
耐潮性、耐風性が強く、大きく成長する木であり、広幅員の道路への植栽に適している。

○アマノガワ（桜）
枝がほとんど広がらない樹形で、日本を代表する花であり、世界との交流の場としての彩りを添える。

○ドウダンツツジ
葉は枝先に集まっており、春先はスズランに似た壺型の小さい白花、秋には美しい紅葉を多数つけ、季節感のある樹種として調和する。

4 8 4 号線〔湾岸道路～東京ビックサイト前交差点〕



【植栽樹種】 間に捕植

高木 : クスノキ（現行）
中木 : サルスベリ・ツバキ類（新規）
低木 : アジサイ・ドウダンツツジ（現行）

4 8 2 号線〔東京ビックサイト前交差点～潮風公園前南〕



【植栽樹種】

高木 : シラカシ（現行）
中木 : アマノガワ・ムクゲ（新規）
低木 : ドウダンツツジ（現行）

4 8 2 号線〔東京ビックサイト前交差点～潮風公園前南〕

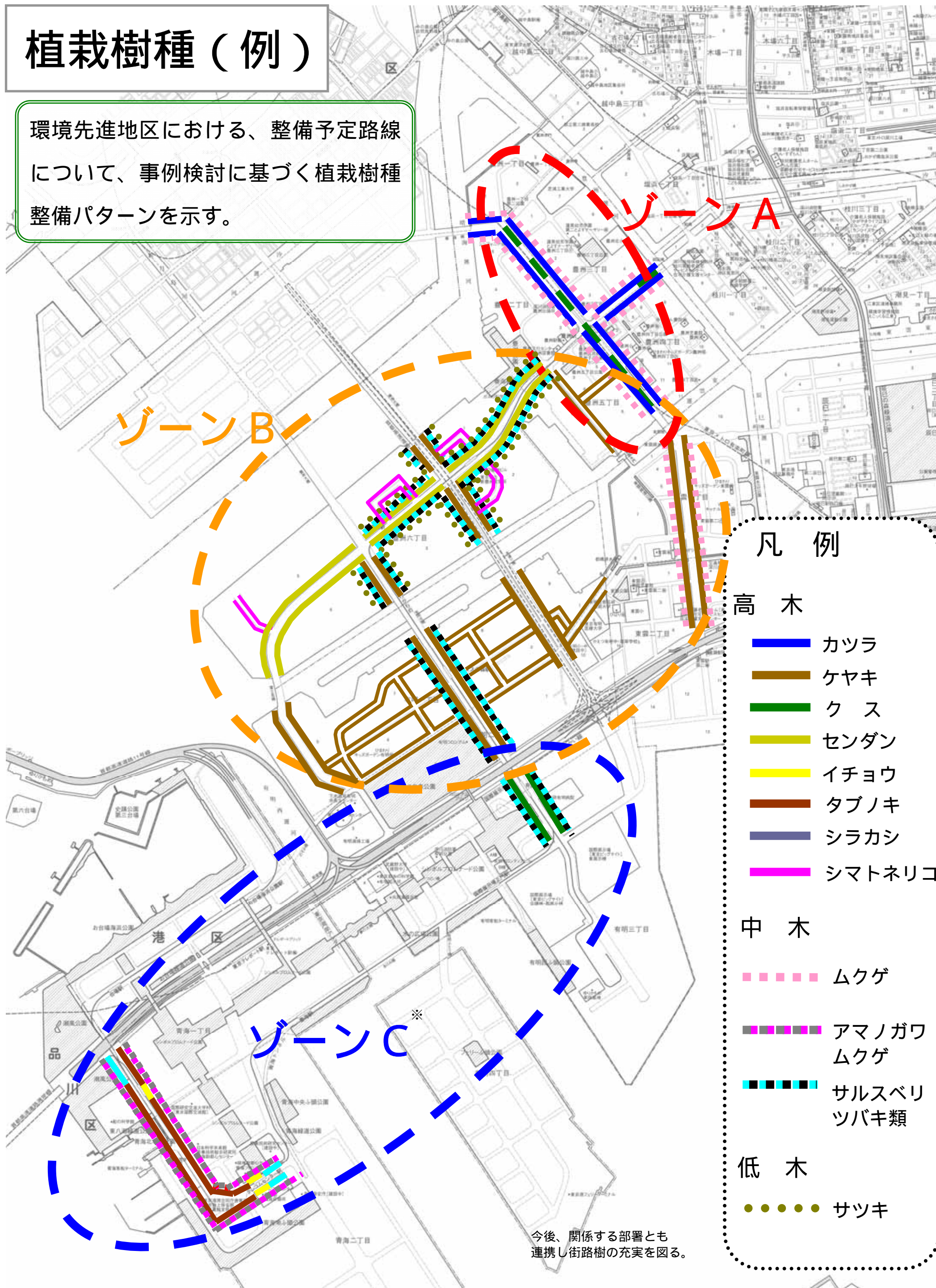


【植栽樹種】

高木 : タブノキ（現行）
中木 : アマノガワ・ムクゲ（新規）
低木 : ドウダンツツジ（現行）

植栽樹種（例）

環境先進地区における、整備予定路線
について、事例検討に基づく植栽樹種
整備パターンを示す。



13. 植栽本数の例示

整備例の中でも特に新規植栽が多く、街路樹の増加が著しい地区であるゾーン B の中でも特に区画整理事業地内の豊洲・有明地区について、都道および区道の延長に対する植栽本数を試算する。

都道部 図の破線……：色は、表中の路線名を表す 樹種は高木のみとする

路線名	延長	高木	中木
304号線（晴海通り）	約 2,200m	約 170 本（ケヤキ）	約 550 本
484号線	東西	約 1,400m	約 120 本(センダン)
	南北	約 1,150m	約 70 本(ケヤキ)
補助315号線	東西	約 700m	約 50 本(センダン)
	南北	約 800m	約 50 本（ケヤキ）

区道部

地域名	延長	高木	中木
豊洲地区	約 1,616m	約 320 本（シマトネリコ）	
有明北地区	約 4,320m	約 630 本(ケヤキ)	約 540 本

総延長約 12,106 m 合計約 3,330 本

内、高木約 1,410 本、中木約 1,920 本の植栽が可能

凡例

- ケヤキ
- センダンノキ
- シマトネリコ
- 太線…都道



区画 2 号（シマトネリコ）

ゾーン B 地区植栽計画の例示



484号線（センダンノキ）



304号線（ケヤキ）

街路樹充実連絡会について

街路樹の整備は区民生活に大きな影響を与え、人々の関心も高い。江東区内においても例外ではなく、秩序ある街路樹整備が求められている。しかしながら、路線毎に植栽樹種や整備方針、維持管理方法に相違のあることも多く、まち並みの統一化を図ることが難しい現状にある。

そこで、「みどりのネットワーク」を考慮した面的な整備を行うため、街路樹整備に向けた都区連携の場として本連絡会を恒常的に継続し、様々な協議を行うものとする。

以下に、本連絡会における基本コンセプトを示す。

【コンセプト】

- ・「みどりのネットワーク」形成のための樹種選定に関する定期的な協議を行う。
- ・都区における維持管理時（剪定時期や剪定方法等）の協力体制の強化を図る。
- ・街路樹整備に対する住民理解を求めると共に、普及啓発に努める。

